

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票					No.	36-004	
PDCA	事務事業名	運営基盤強化事業	部課等名	水道部 上水道課 料金担当	担当 内線等	佐藤 490	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち					
		節： 第3節 生活環境の向上					
		基本施策： 1. 水道					
		単位施策： (2) 健全経営					
	根拠法令等	水道法、半田市給水条例					
	対象・目的	水道料金を適正に徴収するとともに、お客様サービスの向上や経営の効率化を図り、運営基盤の強化に努める。					
	目的を達成するための手段・活動内容	お客様サービスの向上や経営の効率化を図るため、窓口、検針、開閉栓、料金調定収納等業務において、民間委託化を実施する。それに伴い、未収金対策では毎月の文書催告や給水停止によって収納を強化する。また、今後の事業の安定・健全な運営のため、令和元年度、2年度の2か年で経営戦略等を策定し、将来のビジョンを示す。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①給水停止	12	12	12	回	
		②料金業務(受付、検針、開閉栓、滞納整理)	325,503	327,802	331,062	件	
		③検定満期メーター取替	5832	5434	4,396	個	
		事業費	86,106	86,416	83,330	千円	
		人件費	635	635	625	千円	
		総事業費	22,200	22,510	83,955	千円	
		活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位	
	①メーター1個当りの取替コスト	3,697	4,025	4,049	円/個		
	②料金業務1件当りコスト	198	199	198	円/件		
	③						
	成 果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位	
		①年度末時点における収納率	実績値	98.37	98.40	98.47	%
			目標値	98.20	98.30	98.40	
②		実績値					
		目標値					
③		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ある	
	事業の評価・課題	A					
		お客様サービスの向上や経営基盤強化のため、窓口業務・検針・料金徴収等の包括的な民間委託を継続して実施し、毎月の催告や給水停止などの収納強化を図った。これにより、現年度末時点での収納率をさらに向上させることができた。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	拡充推進				
			給水収益は、長期的には人口の減少や節水型機器の普及により、減少すると予測されることから、継続して収納対策の強化や経費の縮減など効率的な運営に努めていく。今後は、経営戦略や新水道ビジョンを策定し、将来の展望を示すことにより水道事業の安定化を図っていく。また、口座割引制度の廃止についても、経営戦略に盛り込んでいく。				
		令和元年度の目標	成果指標	目標値		単位	
			①年度末時点における収納率	98.6		%	